




野菜の需給・価格動向レポート(平成26年6月9日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		5月の価格情報				生育及び価格の6月の見通し
		平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
葉 茎 菜	<div>キャベツ</div> 	84.37 67.20	71	85	66	・入荷見込量：13,580t (100) ・主産地：千葉 (48)、茨城 (22)、群馬 (6)、東京 (4) ・千葉産は、生育は概ね順調で平年並みの出荷を見込むものの、終盤期に向かい中旬以降徐々に出荷量は減少する見込み。茨城産は、天候に恵まれ病害もないことから生育は順調で平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産及び茨城産が平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		86.69 81.66	69	88	68	・入荷見込量：3,700t (114) ・主産地：愛知 (30)、茨城 (22)、大分 (14)、兵庫 (10)、熊本 (8)
	<div>ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)</div> 	264.1	295	328	346	・入荷見込数量：3,960t (102) ・主産地：茨城 (63)、千葉 (22)、輸入 (6) ・茨城産は、病害の発生もなく生育は順調でピークに向けて増量してくる時期となり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、春ねぎはほぼ出荷が終了し、夏ねぎの生育は概ね順調なことから平年並みかやや多めの出荷の見込み。 ・茨城産及び千葉県の出荷が総体として平年並みの出荷が見込まれることから、平年を上回っていた価格は平年に近づく見込み。
		334.73	324	291	279	・入荷見込数量：190t (98) ・主産地：徳島 (26)、奈良 (18)、香川 (14)、三重 (14)、大阪 (9)、高知 (9)
	<div>はくさい</div> 	67.05	44	45	45	・入荷見込量：5,200t (100) ・主産地：長野 (52)、茨城 (31)、群馬 (16) ・長野産は夜温の低い日もあるが昼間は暖かいため生育は順調で平年並みの出荷の見込み。茨城産は、終盤を迎えて徐々に数量が減少し、主産地は6月中旬で出荷が終了する見込み。 ・長野産の出荷が平年並みと見込まれるものの、需要の引きが弱いことから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		77.96	67	68	75	・入荷見込量：2,700t (99) ・主産地：長野 (85)、茨城 (10)
	<div>ほうれんそう</div> 	376.10	423	498	404	・入荷見込量：1,290t (100) ・主産地：茨城 (28)、群馬 (24)、栃木 (14)、岩手 (12)、埼玉 (6) ・群馬産は、高冷地からの出荷が主体となるが、最近の急激な気温の上昇により品質低下が若干見られるものの、生育は概ね順調なことから総体として平年並みの出荷の見込み。茨城産は、作付面積の増加に加え、生育は概ね順調なことから平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・群馬産及び茨城産が平年並み若しくはやや多めの出荷と見込まれることから、価格は平年並み若しくはやや下回って推移する見込み。
		396.89	444	505	436	・入荷見込量：500t (98) ・主産地：岐阜 (79)、北海道 (8)
	<div>レタス (結球)</div> 	156.23	124	115	112	・入荷見込量：8,670t (100) ・主産地：長野 (75)、群馬 (19) ・長野産は、現在は準高冷地からの出荷となっているが、最近の適度な降雨もあり生育は順調で、後続の高冷地においても順調であることから、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、干ばつ傾向で生育に若干の遅れがあったものの、5月下旬の適度な降雨により生育は回復したことから平年並みの出荷の見込み。 ・長野産及び群馬産で平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		165.00	151	133	119	・入荷見込量：1,850t (99) ・主産地：長野 (97)
	<div>たまねぎ</div> 	71.02	117	118	114	・入荷見込量：11,400t (95) ・主産地：佐賀 (51)、香川 (12)、兵庫 (9)、輸入 (6)、愛知 (5) ・佐賀産は、5月上旬には干ばつ傾向により肥大の遅れがあったものの、総体としては平年並みの作柄であることから、出荷は平年並みの見込み。香川産は現在は定植の遅れが影響し平年より若干少ない出荷となっているものの、6月中旬以降は遅れも回復することが見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 ・佐賀産及び香川産の出荷が平年並みの出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は平年に近づくものの、引き続き平年をやや上回って推移する見込み。
		71.02	128	118	113	・入荷見込量：3,200t (86) ・主産地：兵庫 (53)、佐賀 (39)
果 菜	<div>きゅうり</div> 	189.84	259	257	224	・入荷見込量：6,510t (95) ・主産地：埼玉 (24)、群馬 (18)、福島 (15)、千葉 (11)、茨城 (9)、栃木 (7) ・群馬産及び埼玉産は、ハウスの倒壊による影響で引き続き少なめの見込み。福島産は病害の発生もなく、花着きや着果状況も良いため生育は順調なことから、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育は順調であり無加温ものは最盛期を迎えるものの、主力の越冬ものが出荷の終盤から終了に向かうため、今後はやや少なめの出荷の見込み。 ・群馬産及び埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		177.22	241	227	207	・入荷見込量：1,600t (93) ・主産地：宮崎 (26)、高知 (18)、愛媛 (12)、福島 (10)、徳島 (8)、群馬 (7)
	<div>トマト (大玉)</div> 	209.59	284	269	240	・入荷見込量：9,290t (100) ・主産地：栃木 (26)、茨城 (14)、千葉 (14)、愛知 (12)、熊本 (11)、埼玉 (4)、群馬 (3) ・栃木産は、天候も安定して目立った病害の発生もないことから、生育は順調で平年並みの出荷の見込み。茨城産は大雪の被害を受けなかった産地は概ね生育は順調であるものの、影響を受けた産地は平年より少ない出荷を見込んでいることから、出荷が多かった前年より若干少なめの出荷の見込み。愛知産は天候に恵まれ生育は概ね順調であるため、平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が若干少なめであるものの、栃木産及び愛知産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		228.53	293	284	257	・入荷見込量：1,900t (97) ・主産地：熊本 (36)、北海道 (15)、愛知 (10)、石川 (10)、福岡 (10)
	<div>なす</div> 	297.07	346	346	331	・入荷見込量：3,950t (95) ・主産地：高知 (32)、福岡 (17)、栃木 (11)、茨城 (11)、群馬 (9)、埼玉 (3) ・高知産は、出荷が終盤を迎え6月中旬ごろ終了する予定であるが、平年並みの出荷の見込み。福岡産は、病害もなく生育は順調でピークを過ぎ、今後は徐々に出荷は減少するが、平年並みの出荷の見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		271.01	337	330	318	・入荷見込量：1,000t (91) ・主産地：大阪 (25)、高知 (22)、熊本 (17)、福岡 (11)、岡山 (9)
	<div>ピーマン</div> 	308.36	335	274	245	・入荷見込量：2,340t (100) ・主産地：茨城 (87) ・茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並み若しくはやや多めと見込まれることから、価格は平年並み若しくは平年をやや下回って推移する見込み。
		283.10	291	234	207	・入荷見込量：440t (99) ・主産地：宮崎 (38)、高知 (22)、茨城 (18)、大分 (8)、和歌山 (6)
根 菜	<div>だいこん</div> 	86.59	70	75	69	・入荷見込量：7,630 (100) ・主産地：青森 (51)、千葉 (28)、北海道 (8) ・青森産は、干ばつ傾向であったが、5月中旬にまとまった降雨があり肥大が回復し、生育は概ね順調であり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、終盤期を迎えているものの、降雪の影響などで出荷がずれ込んだことから、平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉産でやや多めと見込まれていることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		94.24	69	77	64	・入荷見込量：2,200t (97) ・主産地：青森 (46)、北海道 (29)、鹿児島 (6)
	<div>にんじん</div> 	156.99	114	116	134	・入荷見込量：6,450t (100) ・主産地：千葉 (77)、埼玉 (10)、輸入 (3) ・千葉産は、天候に恵まれ生育は順調なことから、径の太いものの比率が増加しており、ピークを迎える早だしの産地の後続の産地も順調に出荷される見込みであることから、平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉産は、大雪と干ばつの影響で肥大が若干遅れが生じていることから少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるものの、6月から平年の価格水準が下がる時期になることもあり、平年を下回っていた価格は平年並みに推移する見込み。
		148.36	105	103	101	・入荷見込量：2,200t (94) ・主産地：長崎 (55)、和歌山 (24)、徳島 (12)、兵庫 (8)

種類		5月の価格情報				生育及び価格の6月の見通し	
		平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額				
			上旬	中旬	下旬		
い も		－	284	325	490	・千葉産は、出荷の終盤期で平年より少ない出荷となっている。鹿児島産は現在は離島からの出荷となっており、春先の低温による影響で遅れが出ていた生育は回復し、平年並みの出荷の見込み。 ・鹿児島産の出荷が平年並みを見込むも、昨年夏の高温・少雨の影響により全国的に出荷の残量も少ないことから平年を上回って推移する見込み。	
		－	537	833	800		
		131.80	123	116	120		・長崎産は、玉付きがやや少なめであるが、生育は概ね順調であることから平年並み出荷の見込み。静岡産は、寒さと干ばつの影響で生育は遅れ気味であったが、現在は順調でピークに向け増量が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 ・長崎産及び静岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年をやや下回っている価格は、平年に近づく見込み。
		131.80	128	125	129		

注: 1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
5 主産地は、東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。
8 キャベツの平均価格は上段が5月1～15日まで、下段は5月16日～31日までの価格である。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,871gで前年比97%、購入金額は、1,887円で同104%となり、購入数量、金額ともに前年を下回った。

また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は、183円で過去5か年平均比109%となった。レタスは、347円で同93%となり、過去5か年平均を下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）

年	過去5か年平均		平成25年		平成26年			
	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	前年比	購入金額（円）	前年比
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775	106
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102	1,742	105
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,903	99	1,861	105
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	97	1,887	104
5月	5,103	1,902	5,257	1,861		0		0
6月	5,092	1,885	5,249	1,897		0		0
7月	4,423	1,712	4,456	1,783		0		0
8月	4,324	1,713	4,422	1,741		0		0
9月	4,768	1,803	4,577	1,863		0		0
10月	5,238	1,861	5,225	1,932		0		0
11月	4,993	1,671	4,852	1,806		0		0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成21～25年の平均。

主要野菜の小売価格（東京都区部）
(単位：円/kg)

キャベツ

	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
1月	198	267	135
2月	211	234	111
3月	200	200	100
4月	248	206	83
5月	169	183	109
6月	137		0
7月	153		0
8月	140		0
9月	149		0
10月	158		0
11月	162		0
12月	162		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。
2 平成26年5月の値は、5月中旬の速報値。

レタス

	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
1月	673	684	102
2月	605	578	95
3月	498	459	92
4月	469	381	81
5月	371	347	93
6月	317		0
7月	322		0
8月	415		0
9月	506		0
10月	449		0
11月	421		0
12月	521		0

3 野菜の輸入動向

4月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比118%の9万7千トン、加工野菜は同97%の15万9千トン、野菜全体は、同104%の25万6千トンとなった。このうち中国産野菜合計は101%の12万2千トンとなった。
加工野菜は前年を下回ったものの生鮮野菜が前年を大幅に上回ったことから、野菜全体も前年を上回った。

野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

区分	平成24年		平成25年		平成26年1～4月		平成26年4月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	371,454	120	97,188	118
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	601,981	101	158,748	97
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	973,435	108	255,936	104
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	478,025	107	121,839	101
中国産シェア	51		52		49		48	

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成25年4月(A)	平成26年4月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	20,269	34,130	168
	中国	16,685	26,334	158
	ニュージーランド	1,817	5,981	329
にんじん	合計	9,615	6,465	67
	中国	7,338	4,559	62
	台湾	1,007	640	64
ねぎ	合計	3,870	4,509	117
	中国	3,818	4,473	117

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年4月は、速報値。

4 トピック ― 果菜類の生産動向と野菜指定産地 ―

これから夏に向けて消費の機会が増える野菜の一つに果菜類（きゅうり、なす、トマト、ピーマン）があるが、その最近の生産動向（平成15年～24年）を紹介する。

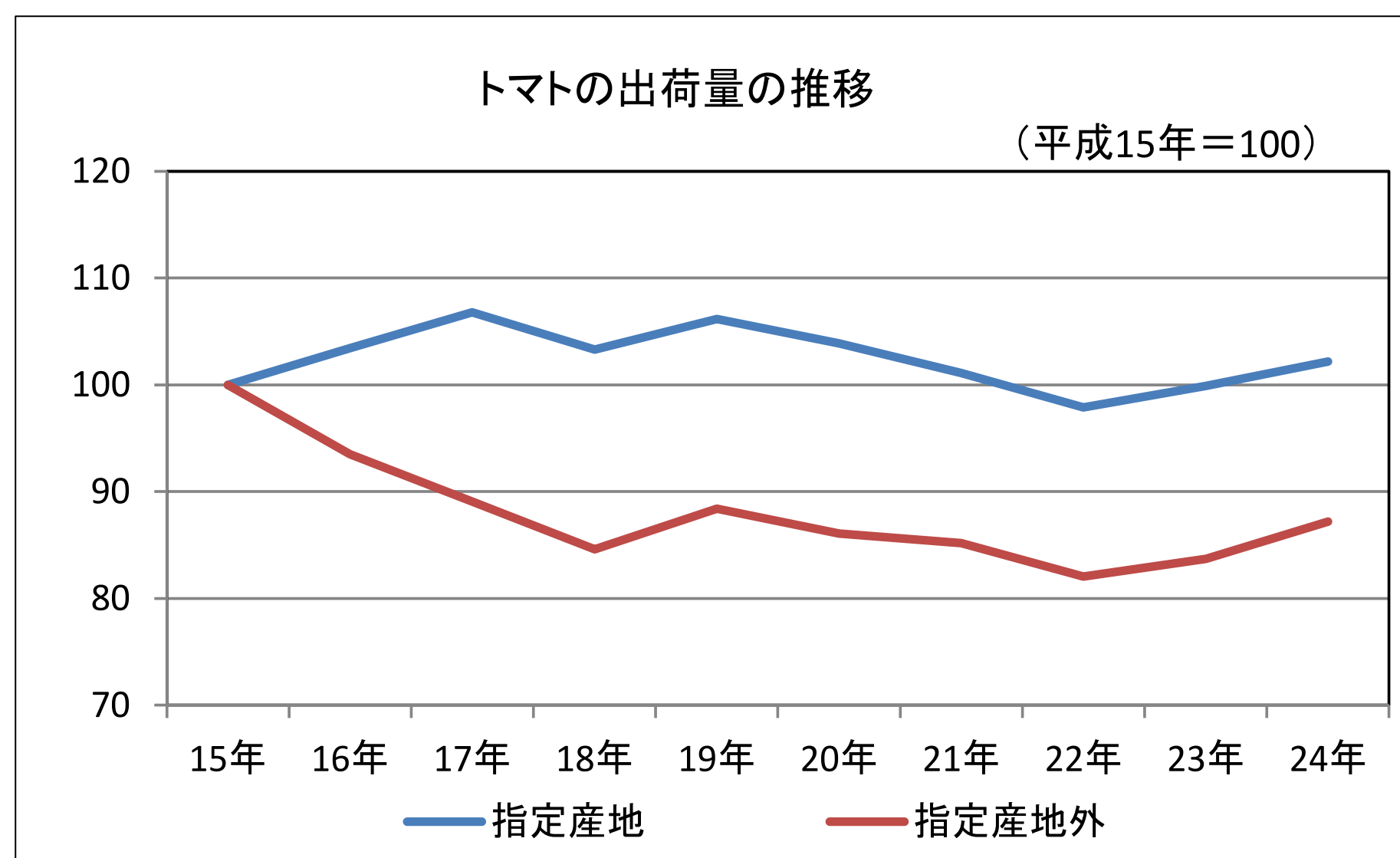
作付面積は、この10年間で、きゅうり▲17.7%、なす▲17.8%、トマト▲9.1%、ピーマン▲9%といずれも減少しているが、トマトやピーマンは減少幅が相対的に小さい。

出荷量も、きゅうり▲13.5%、なす▲15.7%、トマト▲3.7%、ピーマン▲2.6%と減少しているが、いずれも作付面積ほどは減少していない。その要因には生産技術の改良等に伴う単収増もあるとみられる。

また、トマト、きゅうり、ピーマンの出荷量の推移（平成15年＝100）を、野菜の指定産地（当機構が実施する指定野菜価格安定事業の対象産地）、指定産地外別にみると、指定産地は減少幅が小さく安定的であり、ピーマンでは出荷量が増加している。さらに、トマトの作付面積は、最近では指定産地が指定産地外を上回る状況にある。

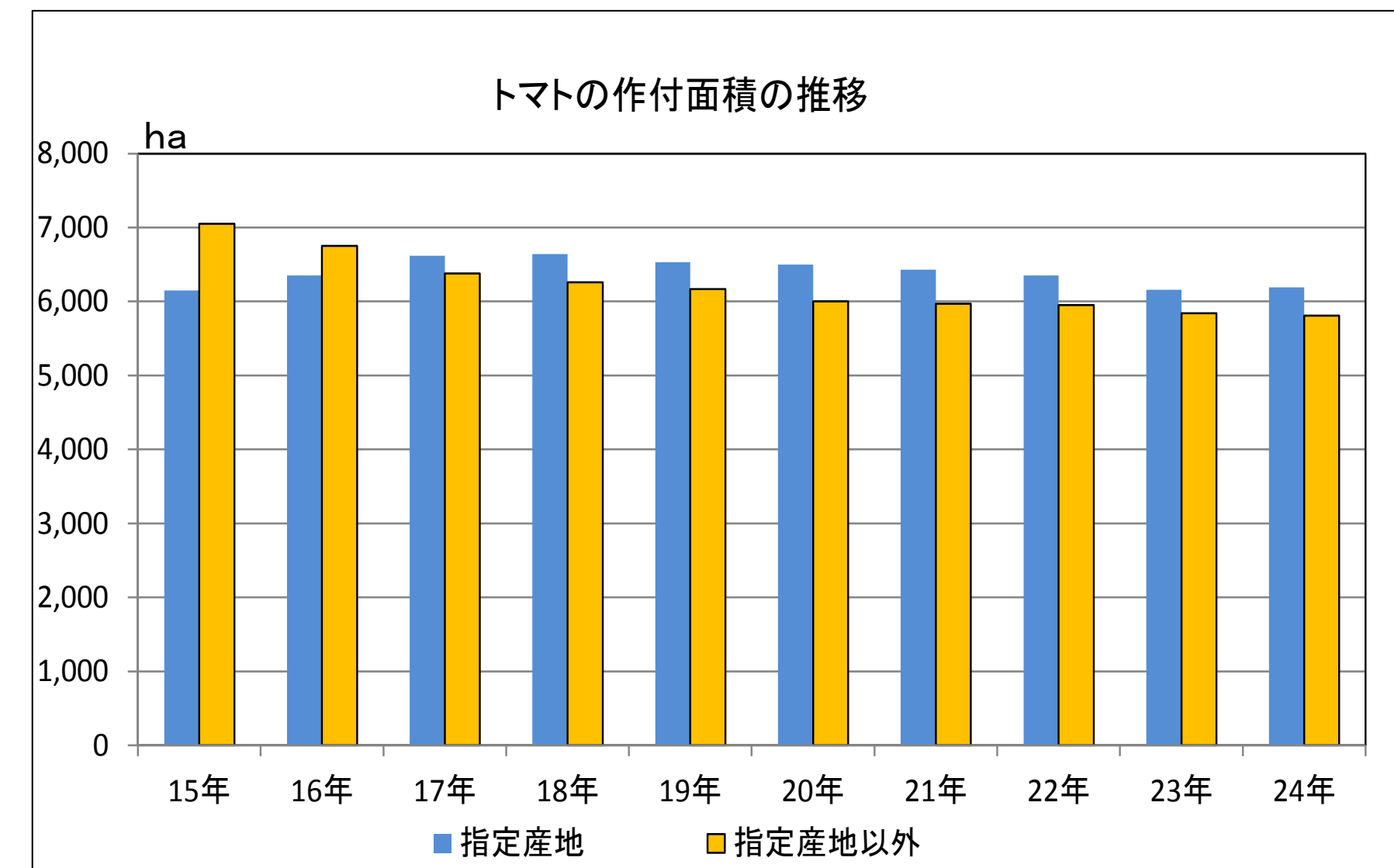
野菜の国内生産はすう勢的には減少傾向にあるが、指定産地では、出荷団体等による生産振興、計画的出荷、品質向上等の取組が推進されており、指定野菜価格安定事業と相まって、産地の維持・形成が図られているとみられる。

トマトの出荷量の推移
(平成15年＝100)



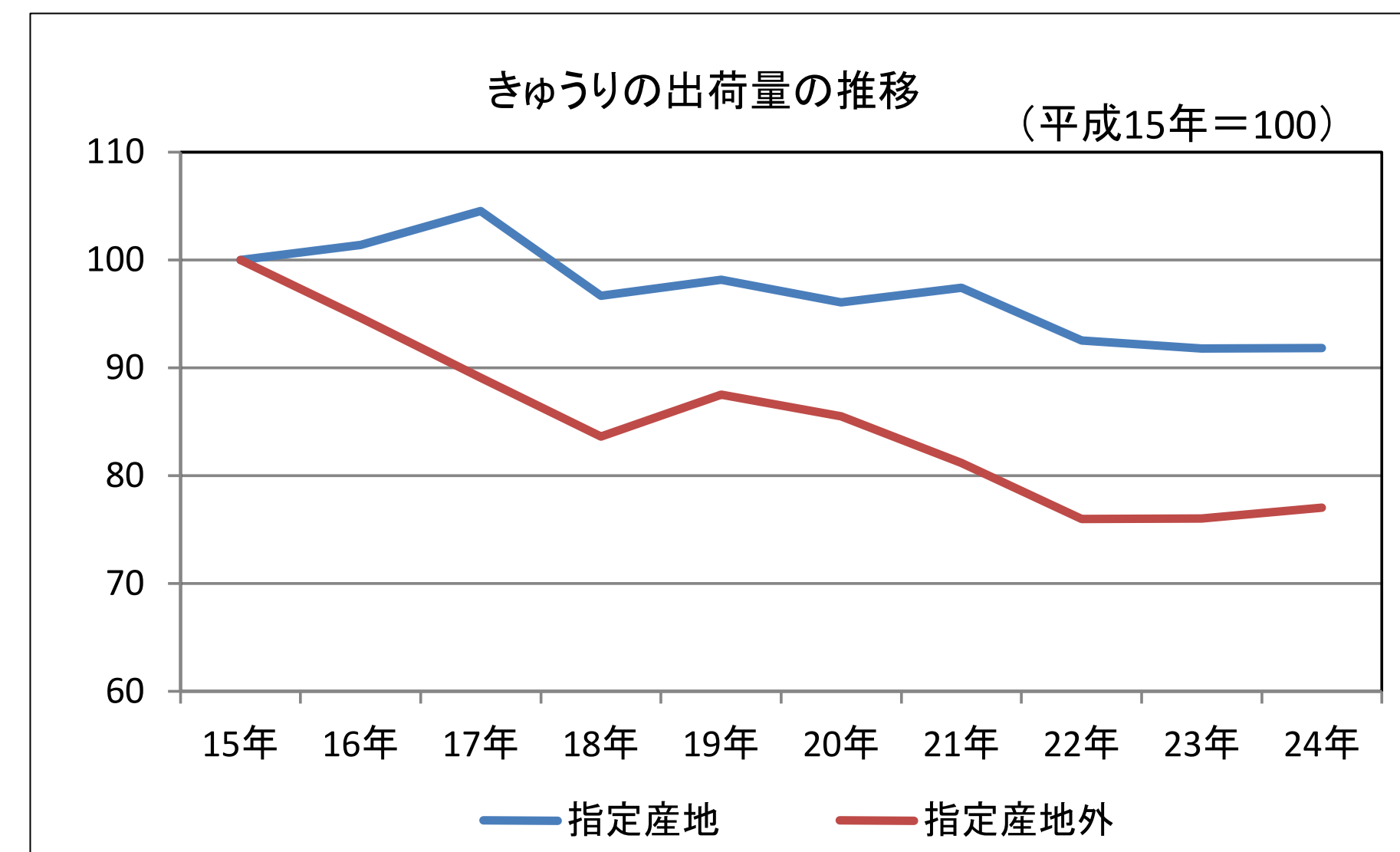
年	指定産地	指定産地外
15年	100	100
16年	105	95
17年	108	90
18年	103	85
19年	107	88
20年	103	85
21年	101	85
22年	98	82
23年	100	84
24年	103	87

トマトの作付面積の推移
ha



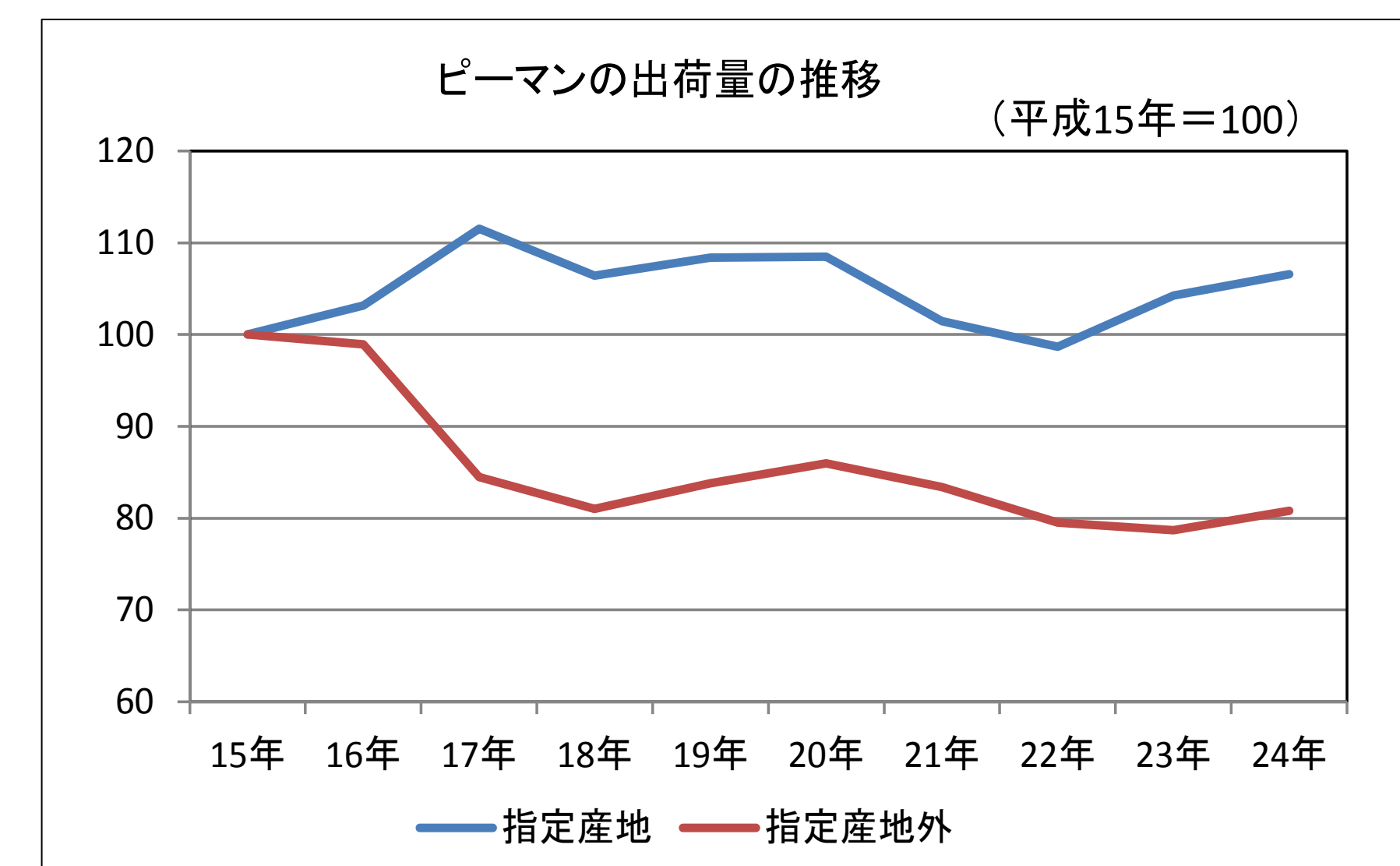
年	指定産地	指定産地以外
15年	6100	7000
16年	6300	6800
17年	6600	6400
18年	6700	6300
19年	6500	6200
20年	6500	6000
21年	6400	6000
22年	6400	6000
23年	6200	5900
24年	6200	5800

きゅうりの出荷量の推移
(平成15年＝100)



年	指定産地	指定産地外
15年	100	100
16年	102	95
17年	105	90
18年	97	83
19年	98	87
20年	96	85
21年	97	80
22年	92	75
23年	91	75
24年	92	77

ピーマンの出荷量の推移
(平成15年＝100)



年	指定産地	指定産地外
15年	100	100
16年	102	98
17年	112	84
18年	106	81
19年	108	82
20年	108	86
21年	101	83
22年	98	79
23年	105	79
24年	107	81

注：トマトの出荷量と作付面積にはミニトマトを含む。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 河原、斎藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。